



◇当社の取組み状況◇

『BDF燃料の現場での活用』



使用したバイオディーゼル燃料（BDF燃料）は、地域の協力のもと、家庭や職場から出た廃食用油を回収し、当社BDF燃料プラントにてバイオディーゼル燃料に精製を行っております。工事期間を通じBDF燃料の使用計画をたて、重機や車両での利用の促進を行いCO₂の削減に取り組みました。

工事名	地方道路交付金工事 27-FI45-40
工事場所	由利本荘市赤沼下地内
路線名	国道105号
工期	H27年6月29日～11月24日
施工延長	L=340m
発注者	秋田県由利地域振興局



BDF燃料活用計画書

工事名 27-FI45-40
地方道路交付金工事(舗装補修)

次代へ語る、泉田の技を、こころを、次代に残す。



平成27年7月

Osada 長田建設株式会社

BDF燃料活用実績の算定結果



燃料使用量（BDF・軽油・ガソリン）

【内訳】	使用実績	(当初計画量)
BDF	1,050.0 ℓ	(804 ℓ)
軽油・ガソリン	5,007.0 ℓ	(4,552 ℓ)
合計	6,057.0 ℓ	(5,356 ℓ)

BDF燃料利用率・・・ **17.3%** (15.0%)

CO₂の削減量

$1,050.0 \times 2.619 = 2,750.0 \text{ kg-CO}_2$
軽油のCO₂排出係数 = 2.619/ℓ

※ 燃料使用量の当初計画量（予定数量）との差異について
工事の施工においては、作業効率の向上に努め、アイドリングストップや不必要な空ぶかしをしないなどの徹底に努めたものの、施工条件の変更等により、日当たり施工量が減少したため、燃料使用量が増加した。



◇現場紹介◇

工事名：県単河川改良工事 27-K296-50
工事場所：由利本荘市東鮎川地内
工事概要：河川改良

『河川改良現場』



『女性技術者の配置』



測量や書類作成など
施工管理に従事して
います！



女性専用の休憩所や
トイレの設置など働
きやすい環境をサポ
ートしています！

『現場の状況』

現在、小口止工と階段工、残土の受入れ作業を行っています。今後本格的な護岸工の作業に入っていきます。

『現場代理人より』

現在、鮎川関連工事が8社あり安全協議会を立上げ、工事の調整や安全対策に取り組んでいます。これから本格的な冬を迎え寒さや雪の影響など作業条件が厳しくなりますが早期の完成に向け現場従事者一丸となり日々作業に取り組んでいます。



◇現場紹介◇

工事名：県単道路補修工事 27-G426-70
工事場所：由利本荘市鳥海町模梨地内
工事概要：歩道整備

『歩道整備現場』



『現場の取組み』



酒気帯び者の労働防止
にアルコールチェッ
カーによる測定を行っ
ています！



BDF燃料を使用し軽
油使用量を抑えCO₂の
削減対策に努めていま
す！

『現場の状況』

現場は2工区に分かれており、歩道部の舗装作業と歩車道境界ブロックの撤去・新規設置作業を行っています。

『現場代理人より』

現場は山間部に位置し、早めの降雪が考えられ雪による交通規制時のリスクの増加や品質管理への影響が考えられる為、本格的な降雪前の完成に向け作業パーティー数の増加などを行い工程管理に留意しています。